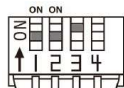
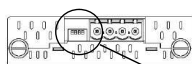


5. 伝送速度設定スイッチの設定方法

CC-Link通信の速度を設定するピアノ型DIPスイッチで、値は0～4が設定可能です。
(5以上に設定しないでください。)



| 値 | 伝送速度 |
|---|---------|
| 0 | 156kBPS |
| 1 | 645kBPS |
| 2 | 2.5MBPS |
| 3 | 5MBPS |
| 4 | 10MBPS |

上図の例では伝送速度を5MBPS(3)に設定しています。

6. ご使用上の注意

- ◆設定スイッチは電源OFFのときに操作してください。通電中の設定変更はできません。
- ◆まず本装置をご使用の際は、別に用意しております取扱説明書を必ずご一読ください。
- ◆電源端子及び入力に仕様を越える電圧を加えますと故障したり、発煙・発火等の危険性がありますので必ず仕様通りの電圧を加えて下さい。
- ◆感電防止のためFG端子は必ずアースしてください。
- ◆落下させたり乱暴な扱いをしないで下さい。
- ◆金属片などの導電性物質が本体内部に入らないようにして下さい。故障および事故の原因になります。
- ◆万一結露した場合は、完全に乾くまで放置してから通電して下さい。そのままの状態に通電しますと感電などの事故の原因になります。
- ◆可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないで下さい。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜ると発火の原因になる場合があります。
- ◆ユニットの交換などにより信号線を外す場合、活線状態で行いますと信号線のショートや混触等により他のユニットの動作に影響を及ぼす事があります。また場合によっては装置を故障させる原因にもなりますので必ずマスターコントローラ(またはこれに相当するインターフェイスユニット)の電源をOFFにした状態で行って下さい。
- ◆次のようなところに設置または保管をしないで下さい。故障の原因になります。
 - ・仕様値を越える温度・湿度環境の場所。
 - ・水分、油分が当たる場所。
 - ・粉塵や腐食性ガスのある雰囲気中。
 - ・衝撃の加わる場所および加振器等の振動発生源の振動が著しく伝わる場所。
- ◆万一本装置に異常が認められたときは、速やかに電源を切って下さい。そのまま通電されますと重大事故の原因になります。(修理のときは何が起ったかをご連絡下さい。)

7. その他のご注意

- ◆本装置を使用したシステムを設計される場合、システム側にてフェイルセーフとなるよう万一の故障に対する適切な処置を講じた上でご使用願います。
- ◆本装置は人命に係わるシステムや医療機器など極めて高い信頼性が必要とされる用途には使用しないで下さい。

記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

No. TKNC32R004

リモートI/Oコネクタ

TKN-C シリーズ

ユニット仕様

型式 TKN-C32R

32点トランジスタ出力ユニット

 東朋テクノロジー株式会社

エレクトロニクス事業本部
〒607-8232 京都市山科区勸修寺福岡町270
TEL 075-594-0199
FAX 075-594-7946

